



公益財団法人 宮城県対がん協会

ともしび

TOMOSHIBI



当協会の 特 色

- 高い精密検査受診率と高い早期がん発見率
- 専門医療機関紹介
- 高い信頼性に基づく精度管理
- 一貫したデータ管理



写真:東松島市 波島

CONTENTS

- 2 新春のご挨拶
- 3 日本消化器がん検診学会会長賞受賞
- 4 2022年度がん検診事業説明会、がん予防研修会
- 5 がん征圧全国大会、日本対がん協会賞受賞に寄せて
- 6 がん征圧月間、WEBがん講演会
- 7 仙台市内史跡めぐりウォーキングイベント、コロナ禍でのがん検診受診控えのリスク
- 8 宮城県がん総合支援センターのご案内
- 9 ともしび健康レシピ
- 10 健康コラム
- 12 ご寄付をいただいた方々、継続寄付のお願い
- 16 2022年度黒川利雄がん研究基金研究助成金募集のお知らせ

早期発見
早期治療

がん検診は
定期的!



グーチちゃん がん助くん
がん征圧イメージキャラクター



令和
4年

新春のご挨拶

公益財団法人 宮城県対がん協会 会長 下瀬川 徹



新年、明けましておめでとうございます。

今年は、世の中が活気を取り戻し、すべての皆様が平和で明るく過ごせる一年になるよう願います。

一昨年は、中国武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症の報道を耳にし、不安な気持ちで新年を迎えました。昨年は感染の急速な拡大によって国内の医療提供体制が逼迫し、感染爆発が叫ばれる中で年末年始を過ごしました。新型コロナウイルス感染症の切り札としてワクチン開発が進み、国内でも昨年3月頃から接種が始まりましたが、ワクチン接種のスピードが変異ウイルスによる感染拡大のスピードを抑え込めるか注目されました。9月以降の急速な感染者数減少には様々な要因が憶測されていますが、人類の知恵と科学の進歩がこの厄介な感染症に一定の成果を収めたことは間違いないでしょう。今後は経口抗ウイルス薬が効果を発揮し、人類がこのパンデミックに真に勝利する年になるよう願っています。一方では、新型コロナウイルス感染症は様々な分野でデジタル化を促進し、従来の常識を覆す新しい活動様式、生活環境を導きつつあります。パンデミックという困難を契機に、新しい生活スタイルが浸透し、一人一人が健康であることの大切さを再認識する時代になるよう期待します。令和4年の干支は「壬寅(みずのえとら)」、解説によれば「壬」は「任に通じ、陽気を下に妊(はら)む」、「寅」は「蟠(ミズ)に通じ、春の草木が生ずる」という意味があり、そのため「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の基礎となるイメージだそうです。今年の干支から、ポストコロナ時代を迎えるに誠にふさわしい年になるように感じます。

話は変わりますが、昨年11月10日に国立がん研究センターなどの研究班は、2005年～2008年の4年間にがん

病期別では、ごく初期の1期の10年生存率が胃がん90.3%、乳がん98.3%、大腸がん94.8%と良好であり、早期発見の重要性が改めて確認されました。一方では、日本対がん協会などが11月4日に発表した調査結果によりますと、2020年にがん

と診断された人は2019年より9.2%減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響で、がん検診の受診者が減ったことが影響した可能性が指摘されました。胃がんの診断数は2019年に比べて13.4%も減少し、大腸がんは10.2%の減少、乳がんは8.2%、子宮頸がんは4.8%の減少でした。特に早期で見つかる症例の減少が目立ち、胃がんの1期は17.4%も減ったと報告されています。緊急事態宣言などにより、

日本消化器がん検診学会 会長賞を受賞

公益財団法人 宮城県対がん協会 がん検診センター 副所長 浅沼 清孝



この度、第29回消化器関連学会週間(神戸)にて、“アルコール代謝関連遺伝子多型と飲酒習慣が胃がん発生リスクに影響する可能性についての検討”と題した研究発表で日本消化器がん検診学会の会長賞を頂きました。このような賞を受賞できましたこと、誠に光栄に存じます。この研究は宮城県対がん協会で行っている、がん・生活習慣病健診(人間ドック)で得られたデータを用いました。協会職員の皆さん、そして解析でご指導下さった加藤勝章所長、ならびに深尾彰研究局長に心より感謝いたします。ここに今回の学会で発表した研究結果をご紹介します。

“酒は百薬の長”という諺があるように、昔から適量のお酒はどんな良薬よりも効果があると言われてきました。実際ある程度の飲酒は、心血管系疾患の罹患リスクを下げると報告されています。一方、飲酒は発がんに関連するとも言われ、しかしながらどれくらいのアルコール量を摂取すると危険なのか、そもそも体に良い“適量”とはどれくらいの量なのか、未だ明確には示されてはおりません。

飲酒において人体に有害とされる物質はアセトアルデヒドと呼ばれる物質で、お酒の主成分であるエタノールが体の中で酢酸に代謝される過程で生成されます。このアセトアルデヒドがフラッシングと呼ばれる飲酒後の皮膚紅潮や吐き気・頭痛などの不快感の原因となるだけでなく、DNA傷害を起こして発がんに関与します。飲酒によるエタノールが代謝されるには、エタノール分解酵素(ADH1B)とアルデヒド分解酵素(ALDH2)の二つのアルコール代謝関連遺伝子が重要な役割を果たします。しかし、これら酵素には人それぞれの異なった遺伝子変異によりエタノールとアルデヒドを分解する能力に差が生まれるため、お酒に対する反応に個人差が生じます。この個人差をアルコール体質と呼びますが、ALDH2活性による体内のアルデヒド分解能が飲酒による反応に大きく影響し、①お酒が飲めるALDH2活性型、②お酒に弱く飲むと赤くなるALDH2低活性型、そして③お酒が全く飲めないALDH2不活性型の3つに大きく分けることができます。ALDH2不活性型は基本的に飲酒をしませんので、体内にアルデヒドが蓄積しやすいALDH2低活性型が飲酒に

よる発がんリスクが高くなります。

これまでの研究で、乳がんや咽頭・食道がんなどは飲酒量に伴い発がんリスクが高まると報告されてきました。そして最近では、胃がんにおいてもALDH2低活性型の飲酒が発がんに関与すると報告されました。そこで我々はあるような飲酒習慣が胃がん発生に関与するのかを明らかにするため、当協会の人間ドックのオプションで施行されているアルコール体質検査の結果を解析いたしました。このアルコール体質検査は唾液によるアルコール代謝関連遺伝子タイプの検査と、世界保健機構(WHO)が開発した問題飲酒指標(AUDIT)という質問表による飲酒習慣の評価から構成されています。AUDITは元来、アルコール依存症に関連する問題飲酒の早期発見を目的として開発され、8点以上がアルコール依存症予備軍でカウンセリングなどが推奨される問題飲酒に該当します。今回の研究では、お酒を飲むと赤くなるALDH2低活性型の方において、AUDITが8点以上の問題飲酒習慣があると、同程度の飲酒習慣を持つALDH2活性型の約7倍の胃がん発見率が認められました。また、胃がんではピロリ菌感染が最も重要な原因であり、ピロリ菌を除菌することによって胃がんリスクを下げると報告されていますが、ALDH2低活性型の胃がん患者の80%が除菌後でありました。ALDH2低活性型において、ピロリ除菌をしても胃がんが発生する原因として飲酒によるアルデヒドが関与していると考えられました。

当協会で行っているアルコール体質検査は採血を必要としないため、唾液から苦痛なくアルコール代謝関連遺伝子の検査が可能です。加えて、遺伝子を抽出しないので遺伝子情報という重要な個人情報

が漏洩する心配もなく、さらに1回¥3000(人間ドックオプション料金)と安価です。自身のアルコール体質を知ることは適切な飲酒習慣の確立に役立ちます。胃がん予防の観点からも、今後アルコール体質検査の更なる普及に努めてまいりたいと考えております。

今回の受賞を励みに、飲酒と胃がんについての検討を継続し、少しでも国民の健康維持に貢献できるよう精進いたします。今後ともよろしくご

2022年度がん検診事業説明会、がん予防研修会

10月7日(木)県内各市町村及び主たる事業所の担当者様等を対象に「2022年度がん検診事業説明会並びにがん予防研修会」がフォレスト仙台で開催されました。昨年から続くコロナ禍での開催となり、大ホールを2会場分確保して3密回避や消毒など感染予防に最大限注意を払いながらの事業説明会となりました。

前半のがん検診事業説明会では、当協会下瀬川会長のあいさつに続き、阿部事務局長から次年度の各種検診の基本方針が説明されました。説明の中で、全国的にも新型コロナウイルスの影響で住民のがん検診受診者が減少している実態について、日本対がん協会発行の対がん協会報を基に対前年比30%の大幅減であることを述べ、ナッジ理論などを応用し「有効な受診勧奨策を講じることで、目標とする受診数及び受診率の達成を目指し、このコロナ禍においてこそ、より多くの早期がんを発見して、がんの死亡率減少に貢献していきたい」と方針を示しました。



がん予防研修会

がん検診事業説明会に引き続き、がん予防研修会が行われました。プログラム1として、東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻公衆衛生学分野教授 辻一郎先生から「宮城県がん予防対策特別調査事業について」のご講演をいただき、調査の目的や経緯、がん予防のエビデンスなどについて説明がありました。ポジティブ・サイコロジィについての項では、楽観性、幸福感、生きがいなどは、「さまざまな疾病の罹患やリスク・要介護発生のリスク・死亡リスクの低下と関連する」と説明されました。プログラム2では、宮城県立がんセンター研究所がん疫学・予防研究部長兼宮城県立がんセンター宮城県がん登録室長 金村政輝先生に「市町村のがん登録情報活用の支援について」のご講演をいただきました。がん登録はがん検診受診率向上や精度管理に役立つ一方、様々な課題があるため、県立がんセンターではそのサポートを行っていることが紹介されました。

いずれの講演も参加された皆さんは先生方の講話を熱心に聞いていらっしゃいました。



がん征圧全国大会

新型コロナウイルスの影響で、昨年度開催が延期となったがん征圧全国大会宮崎大会が9月8日(水)に開催されました。「日本のひなた宮崎から『ひなたのチカラ』でがん征圧」をテーマとして、宮崎県健康づくり協会を主会場に全国対がん協会や関係団体をオンラインで結ぶハイブリッド方式での開催となった今大会。日本対がん協会垣添忠生会長は「がん問題が医療の問題であると同時に経済問題であり、また、社会問題という観点がある。なるべく医療費の増大を招かずに日本国民をがんから守るには、予防と検診に注力するのが最も正しい方法、方向ではないかと考えている。協会はこのような状況の中で、がん検診はもちろんのこと、がん予防に関しても、様々な面で活動を展開していきたい。この宮崎大会が新たな決意のもとに出発するきっかけになればと心から願っています」と挨拶されました。表彰式では「日本対がん協会賞個人の部」として、日本消化器がん検診学会理事長であり宮城県対がん協会がん検診センター前所長の渋谷大助先生をはじめ4名の方が受賞。その他、朝日がん大賞の授与などが行われました。渋谷大助先生には別段で受賞に寄せたコメントを掲載しておりますので、是非そちらもご一読ください。

続いて全国大会記念シンポジウム「新型コロナの影響とがん検診～コロナで減ったがん検診をどう巻き返すか～」が開催され、秋田、東京、宮崎、鹿児島からオンライン参加のシンポジストの皆様が、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したがん検診の受診をどのように促進させるか意見を交わされ、鹿児島県の事例としてナッジ理論を活用した受診者拡大事例が紹介されました。

日本対がん協会賞 受賞に寄せて

社会保険診療報酬支払基金 宮城支部
医療顧問 渋谷 大助

この度は2021年度日本対がん協会賞を受賞する栄誉に浴し、感激に堪えません。宮城県対がん協会の診断委員に就任して以来39年間、当協会がん検診センター所長に就任して21年間の私の対がん活動が評価されたものと思いますが、ひとえに協会職員の皆様、大学、医師会など関係者の皆様のご支援ご協力の賜物であります。特に、恩師の故久道茂先生、菅原伸之先生、故池田卓先生、また、故島田剛延先生を始めとする多くの同僚の先生方に助けられ、支えられて現在の私があります。諸先輩、同僚、協会職員のおかげで、私のようなものが名誉ある日本対がん協会賞を受賞することができました。そのことに思いをはせると、喜びより感謝の気持ちの方が強く湧き上がってまいります。

現在は宮城県対がん協会を退職し、社会保険診療報酬支払基金宮城支部で医療顧問として、我が国が世界に誇る国民皆保険制度の維持のために働いています。加えて、今でも胃X線読影等、胃がん検診の現場に医師として携わっております。これからも、がん撲滅のために微力ながらもお役に立ちたいと思いますので、今後ともこれまでと同様に、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



日本対がん協会 垣添会長

渋谷前所長

がん征圧月間

毎年9月は日本対がん協会が定めた「がん征圧月間」として、がんの正しい知識と早期発見、早期治療の普及啓発に力を入れております。昨年来の新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今年度もがん征圧・予防を呼びかける一番町がん啓発行進等の催し物の開催を自粛いたしましたが、コロナ禍における新たな取り組みとして、宮城県対がん協会のホームページ上で、加藤勝章がん検診センター所長の講演動画を配信しました。また、コミュニティFM「ラジオ3」様のご協力をいただき、番組の中でがん征圧を呼びかける内容を放送いたしました。

その他、例年実施している当協会の検診センターと仙台市各区役所への懸垂幕の設置やがん征圧月間の新聞広告での啓発活動、宮城県内の市町村へのがん征圧ポスターや禁煙ポスターの配布、宮城県庁でのパネル展への展示を行いました。

今年度の宮城県庁でのパネル展は9月6日～17日まで1階ロビーでの展示となり、多くの方々に足を止めてパネルをご覧になっていただきました。



WEBがん講演会

例年、9月のがん征圧月間に合わせて行っている「がん講演会」ですが、今年度はコロナ禍という状況を踏まえ、一般来場者を集めて行う形式を取りやめ、宮城県対がん協会ホームページ上で講演動画をご覧いただける取り組みを行いました。

宮城県対がん協会がん検診センター加藤勝章所長が「コロナ禍におけるがん予防」と題して行った講演は、コロナ禍におけるがん検診受診の現状を中心に、がんに対する知識を分かり易く解説される内容となりました。当初は9月のがん征圧月間だけの公開を予定しておりましたが、ご好評の声を多く頂戴しているため、当面の間公開を継続することといたしました。まだご覧になっていない方は、是非一度宮城県対がん協会ホームページ (<https://www.miyagi-taigan.or.jp>) トップページのバナーからご覧ください。



右のQRコードからも入れます



仙台市内史跡めぐりウォーキングイベント

11月20日(土)、「仙台市内史跡めぐりウォーキングイベント」が開催されました。

今回は健康増進ならびに「がん検診の推進」を目的としたイベントとして、主催の第一生命様から宮城県対がん協会へイベント参加のお声掛けをいただき、がん検診資料の配布や受付ブースの一部をお借りして各種がん検診の啓発パネルの展示を行いました。

このイベントは「小児がん支援キャンペーン」を兼ねており、当日の参加者は小児がんへの理解を深める一環として配布された、ゴールドリボンのマークが入った黄色のマスクを着用してスタート地点を出発。晩秋の仙台の景色や史跡を眺めながら、晩翠草堂、緑水庵、瑞宝殿の3つのポイントを通る全長約6kmのコースを歩きました。宮城県対がん協会からは23名の職員が参加し、「仙台市内でも行ったことが無い場所が見れて気持ちよく歩けた」「次回も是非参加してみたい」といった充実した声が聞かれました。



コロナ禍でのがん検診受診控えのリスク

オリンパス株式会社の「胃・大腸がん検診と内視鏡検査に関する意識調査白書2021」によると、コロナ禍における今年度のがん検診受診予定者が45.2%にとどまる一方で、61.8%が受診控えによる病気の発見の遅れについて不安を感じていると回答しています。コロナ禍でもがん罹患数は減るわけではありません。がん検診や精密検査の受診控えは、がんの早期発見・早期治療の機会を減らしてしまうリスクとして懸念されます。

実際に、日本対がん協会などの発表によると、主な5種のがんで約4万5千人の診断が遅れたと推計され、今後は進行したがんが見つかるケースが増えて、患者の予後の悪化や死亡率の増加が懸念されています。来年度のがん検診の申し込みも徐々に始まっております。

皆さんぜひがん検診の受診をご検討ください!

参考資料

出典:「胃・大腸がん検診と内視鏡検査に関する意識調査白書2021」(オリンパス株式会社発行)より引用

～宮城県がん総合支援センターのご案内～

がんの患者さんやご家族をはじめ、**どなたでもご利用いただける無料の相談窓口**です。
医療をはじめ在宅療養や介護、就労などがんに関する様々な相談に対して、
専門の相談員(保健師)と一緒に考え、サポートします。
当センターは宮城県からの委託を受けて宮城県対がん協会に設置しています。

がん なんでも相談

相談方法 電話・面談(予約制)・メール・手紙・FAX
TEL: 022-263-1560 FAX: 022-263-1548
メール: zaitaku-gan@miyagi-taigan.or.jp
《ホームページの相談フォームをご利用ください》

相談受付 月曜日～金曜日(祝日・休日、年末年始は除く)
午前9時～午後4時まで

費用 相談にかかる費用は **無料** です
《通話料は相談者の負担となります》

場所 〒980-0011
宮城県仙台市青葉区上杉5-7-30
宮城県対がん協会内

※必要な場合は適切な窓口を紹介します。
※症状や病気になる診断や治療について判断することはできません。
※個人情報厳守いたします。

宮城県
がん総合支援
センターです



例えば、こんな時にご利用ください

- 病気のことを考えると気持ちが沈む、誰かに話を聞いてほしい。
- どの治療法を選べばいいのかわからない。
- 家族ががんと言われたが、どう接すればいいのかわからない。
- 先生と上手くコミュニケーションをとりたい。
- 患者会やがんサロンの情報が欲しい。

がんに関する心配や悩み、知りたい情報など
お気軽にご相談ください。

相談や情報提供のほかに こんなことも行っています

- 「がん患者会・サロン ネットワークみやぎ」事務局
- がんピアサポーターの養成研修会 など

詳細は
ホームページを
ご覧ください。

情報は“力”あなたの療養生活を左右することがあります！

当センターはがん患者さんやご家族に役立つ情報をお伝えします。
ご連絡をお待ちしております。



相談員 針生 一恵 / 後藤 百合子
<http://miyagi-gansupport.com/>

宮城県がん総合支援センター

検索



包まないシュウマイ

材料(2人分)

- 鶏ひき肉…………… 200g
- えのき…………… 1/2袋
- キャベツ…………… 1/4玉
- 片栗粉…………… 小さじ2
- シューマイの皮…………… 30枚程度

- ☆ しょうゆ…………… 小さじ2
- ☆ 鶏ガラスープの素… 小さじ1/2
- ☆ 砂糖…………… 小さじ2
- ☆ ごま油…………… 小さじ1
- ☆ 塩コショウ…………… 少々
- ☆ しょうがチューブ… お好みの量

作り方

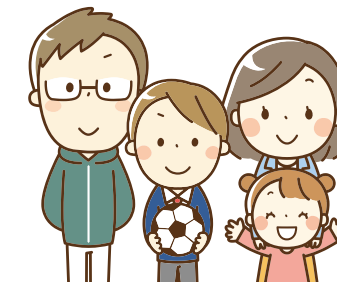
- ① えのきを5mm幅くらいに切り、片栗粉をまぶす。
- ② キャベツはざく切りにし、フライパンに敷く。
- ③ シューマイの皮は千切りにする。(太さは均等でなくてOK)
- ④ 鶏ひき肉に調味料☆を全て入れ、こねる。
- ⑤ ①と④を混ぜ合わせる。
- ⑥ ⑤の肉ダネ皮をつけて丸める。
- ⑦ キャベツを敷いたフライパンに並べ、お湯を入れて10分程弱めの中火で蓋をして蒸す。



アツアツ!
ふくら!
やわらか〜っ♪

通常、シュウマイには玉ねぎやキャベツのみじん切りを具材に使用しますが、みじん切りは手間がかかるので食感がいいえのきを使用しています。えのきはビタミンB群が多く含まれており、抗がん作用が期待できるβグルカン的一种、レンチナンが他のきのこよりも豊富に含まれています。その他にもビタミンB1、B2の他にカリウム、鉄、マグネシウムなども含まれているので栄養満点です。また、低カロリーで食物繊維も豊富でダイエット中の方にもぴったりです。

今回は鶏肉で低カロリー、高たんぱくで少しあっさりめに仕上げていますが、豚肉を使用しガッツリメニューにしてもおいしいです。
ホットプレートで作りみんなでワイワイ食べるのも楽しいですね!



栄養価

エネルギー	311kcal	たんぱく質	15.7g	脂質	9.0g	食物繊維	5.7g	食塩相当量	1.2g
-------	---------	-------	-------	----	------	------	------	-------	------

レシピ考案者 法人総務課 加藤

意識して体を動かす時間を取り入れましょう

安全に運動やスポーツをするポイントは？

✓体調をチェック

一つでも当てはまる場合には、運動やスポーツは行わないでください。

- ☐ 平熱を超える発熱
- ☐ 咳、のどの痛みなどの風邪の症状
- ☐ だるさ、息苦しさ
- ☐ 嗅覚や味覚の異常
- ☐ 体が重く感じる、疲れやすい 等

感染防止の3つの基本

- 十分な距離の確保
- マスクの着用
- 手洗い・手指消毒



家に帰ったら、まず手や顔を洗いましょう。
そして、できるだけすぐにシャワーを浴びて、着替えましょう。

マスクを着用したまま運動やスポーツをすると、水分補給を忘れたり、体温が下がりにくいことがあります。意識して水分補給をすることや、息苦しさを感したら、すぐに休憩を取り入れるなど、無理をしない様にしましょう。

◆ 運動・スポーツの種類ごとの留意点 ◆

✕ 密閉 ✕ 密集 ✕ 密接

三つの密のうち、一つでも該当しないように注意しましょう。

ウォーキング・ジョギング

- ① 一人または少人数で実施する
- ② すいている時間、場所を選ぶ
- ③ 他の人との距離を確保する
- ④ すれ違うときは距離をとる



筋トレ・ヨガ

- ① 自宅で動画を活用
- ② こまめに換気をする



安全な環境を確保して適度に運動やスポーツなど、身体を動かすように心がけましょう。

高齢者や基礎疾患などのある方は、かかりつけ医に相談してください。

栄養バランスがとれた食生活で感染症に負けない体を作りましょう

健康的な食事のポイントは？

主食・主菜・副菜が揃った食事がベスト!

- 主食** 脳や身体のエネルギー源になります。
→ ごはん・パン・麺類など
- 主菜** 身体をつくる材料になります。
→ 肉・魚・卵・大豆製品など
- 副菜** 身体の調子を整える働きがあります。
→ 野菜・きのこ・海藻など

外食やコンビニエンスストア等で食事を選ぶときも、主食・主菜・副菜の3つを意識してセレクトしましょう!



野菜はたっぷり摂って塩分は控えめに!

- ★ 野菜に含まれるカリウムは高血圧などの生活習慣病の予防につながります。野菜摂取の目標量は1日350gです。
- ★ 1日の食塩摂取の目標量は男性7.5g未満/日、女性6.5g未満/日です。減塩のためにも麺類の汁は残すように心がけましょう。
- ★ お惣菜や加工食品の栄養成分表示を確認することを意識しましょう。



黒川利雄がん研究基金

高橋久子、阿部洋、及川貴司、伊藤尚人

新検診センター建設寄付金

杉本武彦、永窪紀代美、今野直樹、三部哲也

篤志寄付金

田代孝

賛助会員（議会）

名取市議会議員会・多賀城市議会・蔵王町議会・七ヶ宿町議会
大河原町議会議員互助会・村田町議会・柴田町議会・丸森町議会
亘理町議会議員会・山元町議会・松島町議会・七ヶ浜町議会
大和町議会・富谷市議会・大衡村議会・色麻町議会
涌谷町議会・美里町議会・栗原市議会・東松島市議会
女川町議会事務局・石巻市議会議員会

岩 沼 市 議 会 布田恵美、飯塚悦男、渡辺ふさ子、高橋光孝、菊地忍、高梨明美、大村晃一

大 郷 町 議 会 赤間茂幸、大友三男、佐藤千加雄、熱海文義、石川壽和、若生寛、和賀直義、高橋重信、千葉勇治、石川良彦、吉田耕大、佐藤牧、田中みつ子、石垣正博

利 府 町 議 会 伊藤司、鈴木晴子、西澤文久、安田知己、木村範雄、土村秀俊、吉岡伸二郎、高久時男、鈴木忠美、伊勢英昭、永野涉、遠藤紀子、渡辺幹雄、及川智善、今野隆之、渡邊博恵、坂本義也、羽川喜富

賛助会員（法人）

アフラック仙台総合支社、熱海建設株式会社、渥美工業(株)仙台支店、株式会社イメージパーク、石巻魚糧工業株式会社、石巻商工会議所 会頭 青木八州、税理士法人青木&パートナーズ青葉支店、勝山企業株式会社、カメイ株式会社、上西産業株式会社、カイリク株式会社、(株)銀座薬局、クレア工業株式会社、弘進ゴム株式会社、株式会社小山商会、気仙沼商工会議所、笹氣出版印刷株式会社、(株)三陸新報社、株式会社佐々直、(株)三株園茶舗、株式会社佐藤製線所、株式会社佐浦、株式会社白松がモナカ本舗 代表取締役 白松一郎、(株)ショクテン、塩釜商工会議所 会頭 桑原茂、志津川オリエント工業株式会社 代表取締役 高橋長慎、仙台商工会議所、仙南信用金庫、株式会社仙台カントリークラブ、仙台弁護士会、株式会社仙台放送、白石商工会議所、東北放送株式会社、株式会社東北プリント、東北総合信用保証株式会社、アルプスアルパイン株式会社、東北特殊工業株式会社 代表取締役 赤間一司、常盤洋紙株式会社、常盤化工株式会社、日本製紙株式会社石巻工場、東日本興業株式会社、宮城商事株式会社、株式会社ひまわり薬局、(株)藤崎、(株)文化堂、有限会社ふじや千舟、古川商工会議所、株式会社リバーヴ 代表取締役 小野寺光広、松林商事株式会社、松田産業株式会社、宮城県中小企業団体中央会、宮城十條林産株式会社、株式会社宮城テレビ放送 経営推進部、宮城石灰工業株式会社、学校法人朴沢学園、株式会社メガネの相沢、株式会社渡辺採種場、ワタヒョウ株式会社、涌谷観光株式会社、アツミ自動車株式会社、カメイ

物流サービス株式会社、宮城日野自動車株式会社、株式会社羽田電機工業所、株式会社ダイコクヤ、東興産機株式会社、仙台和光純薬株式会社 代表取締役 太田三郎、株式会社石井組、宮城県自動車事業協同組合、株式会社T・D・C、東日本メディカルシステム株式会社、仙台市防災安全協会、マルニ食品株式会社 代表取締役 二階堂玲子、株式会社新日電業商会、気仙沼窯業株式会社、菅甚建設株式会社、石巻信用金庫 理事長 明石圭生、若生工業株式会社、有限会社サトー孔版印刷 代表取締役 佐藤雄二、青葉緑化工業株式会社、株式会社あさの、株式会社イト、(有)五橋商事、学校法人明和学園いずみ高等支援学校 理事長 遠藤正敬、高橋印刷株式会社、株式会社東北保険グループ 代表取締役 佐藤秀樹

賛助会員（農協）

JA仙台、名取岩沼農業協同組合、みやぎ仙南農業協同組合

賛助会員（医師会）

仙 台 市 医 師 会 阿部内科神経科医院 阿部信彦、阿部内視鏡内科 阿部慎哉、五十嵐稔、大澤内科医院 院長 大澤寛寿、小野寺英朗、大山医院 大山明、南光台伊藤クリニック 伊藤賢司、袋原内科医院 熊谷均、泉パークタウンクリニック 草野仁、小林内科医院 小林正資、中田内科胃腸科医院、齋藤親弘、千葉内科医院 千葉守、豊田隆謙、長池産婦人科 長池文康、長島内科医院 長島道夫、医療法人有麟堂堀田内科、藤田直孝、松永女性クリニック 松永弦、医療法人社団山家内科医院、妹尾重晴、曾根眞一郎、大方俊樹、仙台今村クリニック 今村幹雄、宮崎豊、猪岡英二、山口胃腸科外科医院 院長 山口尚、作山昌則、医療法人翔仁会 理事長 吉田仁秋、医療法人社団嘉数会 理事長 嘉数太郎、わだゆうこ眼科クリニック 和田裕子、医療法人岩切病院 理事長 中嶋俊之、医療法人松田会松田病院 理事長 松田恵三郎、仙台北部整形外科 院長 小松田辰郎、北中山皮膚科 西抜和喜夫、加茂耳鼻咽喉科 院長 柴原義博、東北医科薬科大学病院、古川加奈子、佐藤互、医療法人ひろせ会、あんどうクリニック、松原信行、医療法人社団秀薫会池田クリニック、佐藤彰、清水内科外科医院 院長 清水雅行、かさい内科クリニック 笠井豊、医療法人社団仙台腎泌尿器科、宮澤循環器科内科クリニック 宮澤佑二、西尾美栄子、桂島いずみクリニック 院長 助川泉、医療法人中真会木村貞之進記念まひと内科クリニック 理事長 木村真人、目黒由紀、遊佐明、山本眼科医院 一迫理恵、佐藤俊裕、東二番丁診療所、ほし外科医院、角田記念ちえこ・ゆきかレディースクリニック、(医)松田会八木山内科・皮膚科クリニック、

医療法人社団沖野内科医院 理事長 浅沼孝和、菊地亮介、向陽台クリニック 永井豊子、南大野田こいけクリニック 小池良樹

白 石 市 医 師 会 医療法人社団内方医院 医師 佐藤秀一、(医)梅津内科医院、こまつ外科内科クリニック 小松和久、公立刈田綜合病院、医療法人塚本内科消化器科、大泉記念病院

柴 田 郡 医 師 会 みやぎ県南中核病院、大沼胃腸科内科外科医院 大沼勝、かわち医院 院長 河内三郎、(医)玉川、宮上順志、医療法人庄司クリニック 理事長 庄司則文、やすだ耳鼻咽喉科・アレルギー科クリニック 安田京、さくら小児科医院 院長 伊藤辰夫

岩 沼 市 医 師 会 (医)丹誠会、有田大作、岩沼市医師会医療法人五葉会山本クリニック、医療法人社団みやぎ清耀会緑の里クリニック、医療法人社団スズキ病院 理事長 谷川原真吾

角 田 市 医 師 会 医療法人安達同済会同済病院、(医)金上仁友会金上病院 安藤正夫、(医)社団小川整形外科クリニック

塩 釜 医 師 会 赤石病院、いけの医院 池野由佳、今井信行、医療法人及川内科医院 及川潤一、大井皮フ科泌尿器科 大井知教、金医院内科胃腸科、公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院 院長 富山陽介、塩釜医師会消化器部会、塩竈市立病院、医療法人社団鈴木眼科医院 鈴木健史、関クリニック 関晴夫、医療法人社団関口内科胃腸科医院、医療法人寶樹会仙塩利府病院、医療法人社団利府内科胃腸科医院 理事長 高橋晋、(医)中山クリニック 中山大典、青葉台クリニック 林義峰、医療法人平樹会平澤内科医院、藤野整形外科 藤野茂、本間正明、多賀城腎・泌尿器クリニック 松下真史、無量井泰、山田憲一内科医院 山田憲一、渡辺眼科 渡辺広己、医療法人米地会よねち内科クリニック、笠神ハートクリニック 藺部太郎、ウィメンズクリニック利府 涌坂俊明、医療法人敬仁会遠藤医院遠藤レディースクリニック 院長 遠藤英敬、医療法人卓敬会まえひろクリニック、大井産婦人科 大井嗣和、医療法人社団喜英会加瀬クリニック、じょうなんファミリークリニック、医療法人社団杉山内科 理事長 杉山幸一

亘 理 郡 医 師 会 熊谷明、医療法人三浦クリニック 理事長 三浦俊治、医療法人社団松村クリニック 理事長 松村吉史、浅生原クリニック 工藤克昌、板橋胃腸科肛門科 板橋敏之

名 取 市 医 師 会 医療法人社団洞口会名取中央クリニック 院長 洞口淳、医療法人武田内科医院 理事長 小林芳江、桑島一郎、曾我内科こどもクリニック

理事長 曾我良輔、洞口・佐藤クリニック 佐藤滋、那智が丘クリニック 佐々木晴邦、医療法人イルソーレ 佐々木英彦、毛利虎一、ひまわり内科・消化器科クリニック 院長 星勝彦、館腰クリニック 益子啓

黒 川 医 師 会 公立黒川病院、ちば小児科医院 千葉淳、新富谷S・Sレディースクリニック 理事長 遠藤敦、吉岡まほろばクリニック、医療法人盟陽会富谷中央病院

加 美 郡 医 師 会 医療法人社団伊藤医院 伊藤健太、加美郡保健医療福祉行政事務組合 会計管理者

大 崎 市 医 師 会 佐藤医院 佐藤和朗、医療法人森皮膚科医院 理事長 森啓之、大崎市病院事業大崎市民病院岩出山分院、大崎市病院事業大崎市民病院鹿島台分院、医療法人中川記念ちか子女性クリニック 理事長 岡村智佳子、大崎市病院事業大崎市民病院、医療法人社団慈篤会三浦病院、医療法人社団近江医院、医療法人永仁会永仁会病院、古川星陵病院、岩渕仁寿、医療法人社団千葉医院 理事長 千葉徹、寛内科胃腸科クリニック 佐藤寛、沼田功、高橋郁朗、(医)星眼科医院、医療法人ありま小児科医院 理事長 有馬和夫、富樫クリニック、古川中央眼科

遠 田 郡 医 師 会 医療法人社団博亮会 野崎病院 野崎公男、医療法人社団順神会佐々木整形外科 理事長 佐々木和義、美里町立南郷病院、医療法人草真会熱海医院 院長 熱海智草、袖井クリニック 院長 袖井文二

登 米 市 医 師 会 小澤道孝、佐藤医院 佐藤厚史、八嶋中央診療所、遊佐内科胃腸科医院 理事長 遊佐不三雄、登米市立豊里病院、医療法人社団田中医院 理事長 田中悟、医療法人社団亮梓会三浦消化器内科 理事長 三浦守正、二瓶内科胃腸科医院 二瓶次郎

桃 生 郡 医 師 会 舘田要、真壁病院、伊東胃腸科内科 伊東正一郎、医療法人社団信和会ものうファミリークリニック

石 巻 市 医 師 会 阿部洋一、相沢正俊、伊藤内科クリニック 伊藤健一、川村尚道、小林龍夫、佐藤景、医療法人T&K坂井内科胃腸科 理事長 坂井武昭、高橋邦広、舘田治、二宮健次、箕田紳一郎、石巻診療所 矢崎重彦、田中典和、石巻赤十字病院、久門俊勝、川原田博章、よしろう内科 千葉淑朗、あらい脳神経外科クリニック 荒井啓史、中浦内科医院 佐藤純、佐藤内科医院 佐藤清壽、しらゆりクリニック 高屋りさ、やまもと産婦人科 山本博尚、石塚圭一、いしのまき矢吹クリニック 矢吹法孝、古山元之、大街道じゅんクリニック 千葉淳

栗 原 市 医 師 会	栗原市病院事業栗原市立栗駒病院、志波姫診療所 所長 佐藤政子、医療法人社団ささき産婦人科クリニック、栗原市立栗原中央病院、栗原市病院事業栗原市立若柳病院、(医)公和会さくた内科クリニック 菊田公一、一迫内科クリニック 佐々木浩、若柳消化器内科 三浦正明、医療法人社団水天会宮城島クリニック 理事長 宮城島堅、高橋ハートクリニック 院長 高橋和彦	色 麻 婦 人 会	千葉としえ
医 仙 沼 市 医 師 会	医療法人移川哲仁会 移川哲、大里胃腸科内科婦人科医院 大里篤志、森田医院 森田潔、大友医院 大友亮、森産婦人科医院 森良一郎、気仙沼市立本吉病院、村岡外科クリニック 村岡正朗、ささはら総合診療科 笹原政美、あいざわクリニック	豊 里 婦 人 会	八木しみ子、大友秀子、遠藤しみ子、只野好子、芳賀芳枝
宮 婦 連		多賀城市婦人会連合会	渡辺とめ、櫻井やえ子、庄子よし江、鈴木絹子、白濱宣子、稲葉愛子、田母神充代、堀米喜代子、鈴木誠子、小野くに子、後藤みよ子、相沢良子、笹原うた子、菊田百合子、江釣子真理子、阿部純子、根本菊江、伊藤輝美、佐藤セツ、松村敬子、大内芳子、阿部多枝子、小野絹子、渡辺千代子、小野雅代、内田昭子、平野美津江、吉田多江子、平山裕子、眞山祐子、鶴田文子
七ヶ浜町婦人会	佐藤民恵、千葉志美枝、三島知恵子、相澤由美子、佐藤美代子	大和町鶴葉婦人会	犬飼元子、熊谷ひろ子、門間勝枝
女 川 町 婦 人 会	阿部苑子、岸サワ子、小山栄子、高橋京子、鈴木信子、東海久美子、遠藤悦子、勝又菊枝、木村佳代子、梁取礼子、平塚文子、佐藤えい子	大和町吉岡婦人会	浅野洋子、若生みさを、宮児玉久子
角田市地域婦人会	鎌田三千子、遠藤美代子、中畑繁子、玉手富美子、保志都	大和町宮床婦人会	浅野よし江、熊谷順子、千坂祐子
鹿 島 台 婦 人 会	今野勝千代、小堤キエ子、久道力ヨ子、金澤とよの、阿部百合子	大和町吉田婦人会	堀籠美江子、今野玉枝、佐藤美枝子
金 成 婦 人 会	千田京子、渡辺和子、鈴木美千代	名 取 市 地 婦 連	渡邊勝子、高橋志津枝、館腰婦人会、増田西婦人会、名取が丘婦人会、愛島婦人会、関上婦人会、宮増田婦人会、下増田婦人会
階 上 婦 人 会	川村和賀枝、小山光子、前田若代、畠山幸子、小野寺美津子、鈴木幸子	中 新 田 婦 人 会	芳野禮子、佐々木妙子、中島智江
遠 田 郡 地 婦 連	涌谷町地域 瀧川澄江、青生地区 菊地千恵子、小牛田地区 鑑清枝、中坪地区 栗野トシ子、南郷地区 佐々木敬子	登 米 町 婦 人 会	千葉信子、猪股さく子、小堀恵子、佐々木きよ子、佐藤和代、佐々木栄美、源間まゆみ、高橋京子
大崎市田尻地域婦人団体連絡協議会	舞嶽智子、秋山満子、高泉トミ子、高橋憲子、鈴木信枝、鎌田涼子、宮川マサ子、松野かつ子、高橋道子、鈴木信子、遠藤キミ子、砂金眞知子、瀬戸憲子、佐々木幸子、千葉孝子、佐藤美江、村山せつ子、小笠原勝子、菊地睦子、鎌田光子、窪田順子、濱名一子、青木まき子、高橋妙子	花 山 婦 人 会	及川喜留子、千葉とくみ、曽根アキ子
塩釜市地域婦人団体連絡協議会	浅野ひろ子、菅原モリ子、我妻キクエ、佐々木和恵、中村和子、三浦あいこ、小野和恵、阿部豊子、鈴木綾子、千葉知子、林富子、高橋多賀子、小野秀子、大山とみの、宮崎智恵子、赤間朝子、鈴木宮子、阿部嶋衛	古 川 地 婦 連	大友富子、菅原末子、佐々木登貴子、永塚正子、西村信代、晴山たえ子、木村一枝、木村洋子、門脇宗子、我孫子妙子、菅原十四四、浜田美知子、大場典子、島田美枝子、小出和子、大條昭子、千葉七重、佐藤洋子
柴 田 郡 婦 連	竹野幸子、川崎婦人会 遠藤勝江、大河原婦人会 森恵子	新 田 婦 人 会	伊藤ゆみ子、遊佐牧子、久光教好、小林愛子、笠原貴代子、千葉郁子、星ちゑ子、岡元くに子
永野支部婦人会	佐藤ひさ代	松 島 町 婦 人 会	櫻井壽美子、内海美子、高橋きぬ子、高城尚子、岸恵美子、鈴木紘子、桜井貞子、丹野タキ子、天野安子、櫻井とし江、櫻井君子、宮田幸子、樋口弘子、岩本克子、三浦信子、大橋るい子
志波姫婦人会	代表 相馬桂子	松 山 婦 人 会	大友妃、川江礼子、小野政子、小関裕子、齋藤京子、早川つね子、菊地優子
白石市地域婦人団体連絡協議会	吉川淑子、渡邊幸子、太田さき子、斎藤ゆう子、大野のり子、佐藤さよ子、佐藤君子、高木笑美子、中沢ミエ、島影幸子、志賀千賀子	筆 甫 婦 人 会	目黒房子
		小 斎 婦 人 会	星京子
		舘 矢 間 婦 人 会	塚原るり子、佐藤貞子、佐藤伸子、佐藤初子、佐藤瑞枝、菊池友子、和田百合子、永橋節子、岡崎恵子
		大張各種婦人会	大槻静江
		大 内 婦 人 会	荒祥子、石田真利子
		丸 森 婦 人 会	上村文子
		利 府 町 婦 人 会	大友明美、林せつ子、貝山昭子、品部陵子、高橋良子、伊藤恵子、西澤久子、伊藤みつ子、小林いく子、佐藤ちよ、永塚清子、阿部まさ子、石橋節子、田辺史子、渡辺みえ子、

色 麻 婦 人 会	千葉としえ
豊 里 婦 人 会	八木しみ子、大友秀子、遠藤しみ子、只野好子、芳賀芳枝
多賀城市婦人会連合会	渡辺とめ、櫻井やえ子、庄子よし江、鈴木絹子、白濱宣子、稲葉愛子、田母神充代、堀米喜代子、鈴木誠子、小野くに子、後藤みよ子、相沢良子、笹原うた子、菊田百合子、江釣子真理子、阿部純子、根本菊江、伊藤輝美、佐藤セツ、松村敬子、大内芳子、阿部多枝子、小野絹子、渡辺千代子、小野雅代、内田昭子、平野美津江、吉田多江子、平山裕子、眞山祐子、鶴田文子
大和町鶴巣婦人会	犬飼元子、熊谷ひろ子、門間勝枝
大和町吉岡婦人会	浅野洋子、若生みさを、宮児玉久子
大和町宮床婦人会	浅野よし江、熊谷順子、千坂祐子
大和町吉田婦人会	堀籠美江子、今野玉枝、佐藤美枝子
名 取 市 地 婦 連	渡邊勝子、高橋志津枝、館腰婦人会、増田西婦人会、名取が丘婦人会、愛島婦人会、関上婦人会、宮増田婦人会、下増田婦人会
中 新 田 婦 人 会	芳野禮子、佐々木妙子、中島智江
登 米 町 婦 人 会	千葉信子、猪股さく子、小堀恵子、佐々木きよ子、佐藤和代、佐々木栄美、源間まゆみ、高橋京子
花 山 婦 人 会	及川喜留子、千葉とくみ、曾根アキ子
古 川 地 婦 連	大友富子、菅原末子、佐々木登貴子、永塚正子、西村信代、晴山たえ子、木村一枝、木村洋子、門脇宗子、我孫子妙子、菅原十四四、浜田美知子、大場典子、島田美枝子、小出和子、大條昭子、千葉七重、佐藤洋子
新 田 婦 人 会	伊藤ゆみ子、遊佐牧子、久光教好、小林愛子、笠原貴代子、千葉郁子、星ちゑ子、岡元くに子
松 島 町 婦 人 会	櫻井壽美子、内海美子、高橋さぬ子、高城尚子、岸恵美子、鈴木紘子、桜井貞子、丹野タキ子、天野安子、櫻井とし江、櫻井君子、宮田幸子、樋口弘子、岩本克子、三浦信子、大橋るい子
松 山 婦 人 会	大友紀、川江礼子、小野政子、小関裕子、齋藤京子、早川つね子、菊地優子
筆 甫 婦 人 会	目黒房子
小 斎 婦 人 会	星京子
舘 矢 間 婦 人 会	塚原るり子、佐藤貞子、佐藤伸子、佐藤初子、佐藤瑞枝、菊池友子、和田百合子、永橋節子、岡崎恵子
大張各種婦人会	大槻静江
大 内 婦 人 会	荒祥子、石田真利子
丸 森 婦 人 会	上村文子
利 府 町 婦 人 会	大友明美、林せつ子、貝山昭子、品部陵子、高橋良子、伊藤恵子、西澤久子、伊藤みつ子、小林いく子、佐藤ちよ、永塚清子、阿部まさ子、石橋節子、田辺史子、渡辺みえ子、

東松島市矢本婦人会	木村みゆき、布施明子、櫻井幸子、佐々木美貴子、橋本こずえ、亀山律子、小山田加代子、真籠聖子、三浦絢子、相澤数子、佐藤豊子、津田美枝子、田中敬子、木村礼子、千葉成子、河嶋清子、土井幸子、片岡君江、浅野美枝子
若柳婦人会	千葉和子、金野智恵子、佐々木実千子、川嶋祐子、氏家千枝子
荒浜婦人会	濱野かじ子、阿部みや子、馬場道子、佐藤富美子、穴戸ひろ子、森恵子、渡部とし子、菊地英子
亘理婦人会	佐藤キクヨ、渡辺みつ江、高橋泰子、岩見富子、三戸部とし江、小野寺貞子、戸引よし子、相原成子、馬場さえ子、佐藤徳子
逢隈婦人会	八巻富士子、三品美智子、渡邊芳、齋藤多寿子、佐藤礼子
吉田西部婦人会	大槻かづ子、小野節子、松山芳子、大河原みつ子、安藤美重子
稲井婦人会、岩出山婦人会、大島婦人会、築館婦人会、宮崎婦人会	

※上記は、ご寄付いただいた皆様の意向により個人名を掲載しておりません。

賛助会員(個人・法人の継続募集しております。)

当協会では、がんに関する正しい知識の普及啓発、かいます。このような事業活動は皆様からの尊い寄付による。

なお、寄付金については**税制上の優遇措置**を受けることができます。寄附者の方は確定申告の際に従来の控除を受けることができます。**法人**の寄付金に対する優遇は、**法人税法上の規定による限度額が損金として**

《寄付》

■ 賛助会員寄付	協会の活動をご支援いただき、毎年個人会員 10 1,000円 法人会員 10 10,000円 特定維持会員 寄付金の額を定
■ 篤志寄付	協会の活動に対する一時的な寄付金
■ 黒川基金	黒川利雄がん研究基金のためと使用

がん征圧に向けた、あたたかいご寄付のお申込、お問い合わせ

公益財団法人 宮城県

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5-7-30
ホームページアドレス <http://www.miyagi-cancer.or.jp/>

個人

小松亀一法律事務所、阿部美代子、久保田光子、森れい子、三浦祐子、芋川宏、佐野國男、渥美ヤエ子、久道貴子、久道真一、市川信昭、佐々木博司、松坂英明、稲垣晃、亀山省吾、亀山米子、猪狩惺、亀岡直樹、菊地民子、山口正彦、笹原啓子、佐藤孝之助、高橋龍郎、佐藤好子、紺野久子、阿部はつ江、高橋正子、五島さよ子、本郷町内会長 大井襃充、阿部かしく、岡嶋泰子、三浦みよ子、佐々木政子、加藤玲子、塩崎晴朗、高橋敬一、福地孝、菊地敦子、藤代かつ、櫻田孝子、越後愛子、我妻幸充、福地欣子、ひまわり法律事務所 弁護士 佐々木健次、三島法律事務所 三島卓郎、櫻田良子、織田信夫、嶋美香、鈴木八郎、安藤裕子、渡辺麟也、曾根サイ、安住泰子、阿部せつ、石黒典子、山口正一、内海春壽、只野一宏、早坂浩二、犬飼健郎法律事務所、中澤きく子、関口清、武田雅比人、久道多賀子、門間典子、久道悦子、土井きよゑ、橘川光男、阿部利子、佐藤京子、阿部英見、大泉ちね子、佐藤艶子、中川ユリ、根元京子、千葉昌男、大友キクエ、佐藤たまを、石川司之、後藤ふじゑ、我妻倉吉、穴戸玲子、萬里崎吉政

職員

守谷崇、佐藤亘、湯田教恵、布田直樹、田代孝、中川知恵、鈴木里恵、永窪紀代美、三部哲也、井上眞由美



賛助会員(個人・法人の継続寄付)
募集しております。

当協会では、がんに関する正しい知識の普及啓発、がんの早期発見・早期治療のための調査研究等の事業を行っています。このような事業活動は皆様からの尊い寄付により支えられています。

なお、寄付金については**税制上の優遇措置**を受けることができます。個人の方からの寄付金は、所得税において優遇措置対象となり、寄付者の方は確定申告の際に従来の「**所得控除**」と「**税額控除**」の**いずれか有利な方を選択**して控除を受けることができます。法人の寄付金に対する優遇措置としては、「**特定公益増進法人**」に対する寄付に該当しますので、**法人税法上の規定による限度額が損金**として認められます。

《寄付金の種類》

■ 賛助会員寄付	協会の活動をご支援いただき、毎年ご寄付をしてくださる方
	個人会員 1口 1,000円以上の寄付者(個人)
	法人会員 1口 10,000円以上の寄付者(団体・法人)
	特定維持会員 寄付金の額を定めて「がん征圧運動」に一層の協力支援をいただいている法人
■ 篤志寄付	協会の活動に対する一時的な寄付金
■ 黒川基金	黒川利雄がん研究基金のためと使用を指定した寄付金

がん征圧に向けた、あたたかいご支援ご協力をお待ちしております。
ご寄付のお申込、お問い合わせは下記までお願いいたします。

公益財団法人 宮城県対がん協会 法人総務課

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5-7-30 TEL 022-263-1637 FAX 022-263-1548
ホームページアドレス <https://www.miyagi-taigan.or.jp>

2022年度「黒川利雄がん研究基金」による研究助成金の応募要領

趣 旨

この基金は、平成元年に宮城県対がん協会の初代会長故黒川利雄先生の遺志を受け、がんの予防および早期発見に関する技術の開発等に係わる医師等の研究助成を行い、がん対策の長期的な展望を開くために創設した。

2021年度までに、130人に対し8,450万円の助成金を交付している。

研究対象分野 と 応募資格

我国のがん予防および早期発見に関する技術の開発等、がん対策に係わる研究を行う50歳未満の個人および団体で、以下の研究分野を対象とする。

なお、公益財団法人宮城県対がん協会の理事または貴所属長の推薦を必要とする。

●がんの疫学および集団検診に関する調査・研究・開発

●がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発

■ 応募件数および推薦件数

1個人・1団体または共同研究グループで1件とし、推薦件数も1人1件とする。

■ 助成金の額

助成総額は220万円とし、研究助成金1件あたり100万円を限度とする。

■ 応募方法

応募希望者は下記宛にハガキまたはFAXで申し込むか、当協会ホームページより申請書類をダウンロードの上、申請については郵送で申し込むこと。

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7番30号

公益財団法人 宮城県対がん協会

「黒川利雄がん研究基金」事務局 宛

TEL.022-263-1637

FAX.022-263-1548

<https://www.miyagi-taigan.or.jp>

■ 期日

〔公 募〕 2022年 1月

〔応募の締切り〕 2022年 3月末日

〔発 表〕 2022年 5月

〔交 付〕 2022年 6月

■ 発表方法

選考の結果については、申請者及び推薦者宛に通知する。

■ 選考方法

公益財団法人宮城県対がん協会「黒川利雄がん研究基金」運営委員会において審査し、会長が決定する。

■ 研究成果の報告

本助成金を受けたものは、翌年4月末日までに研究成果（業績）を提出することとし、研究が途中で完結できないときは、中間報告として提出すること。また、研究の取りやめ、もしくは中止した者については、研究助成金の交付は取り消し、返金していただきます。

■ 注意事項

本助成金により研究成果を発表する場合は「黒川利雄がん研究基金」によることを明記すること。

英文》This work was supported in part by a Grant-in-Aid from “KUROKAWA CANCER RESEARCH FOUNDATION”